

JRひがし労仙台 業務部情報

2020年2月19日

NO, 056

JR東労働組合仙台地本業務部

発行責任者：横山裕介

申16号 中編成ワンマンの実施についての要求申し入れ団体交渉②

2月17日、申16号中編成ワンマンの実施についての要求申し入れの団体交渉を行ってきました。

3項：車載ホームモニタシステムを見ながらドアを取り扱った際に駆け込みでドアに挟めてしまった時は、乗務員の責任にしないこと。

《回答》現行通りの取り扱いとなる。

(組) 前回確認したが、「ホームよし」でノッチを上げた後に、それで何かあった場合、運転士がしっかり確認していれば乗務員の責任は問わないということで良いか。

(会) 安全上のポイントは、戸挟みなく全ドアを閉めることであって、現行の取り扱いも走り出してからは、寄ってきたりとか運転士は分からないので、仕方ないという世界になっているので、同じ考えで良い。

7項：白坂駅に非常停止用赤色旗を設置すること。

《回答》必要な設備は整備していく考えである。

(会) 検討しているところ。付けるとは今のところ言えない。後ろ1両が下り列車の場合、見えなくなるという認識があるので、そういったところでの対応で、場合によっては非常停止の赤旗が必要だろうと設置の検討を行っているところ。こちらにも優先順位の考え方をもって整備を進めていくということもある。やはり、ホーム上の利用されるお客さまの数が多い所だとか、物品管理する体制が整っているかどうかとか、そういったところも判断基準になる。

8項：ホーム上の照明の照度については、乗務員の申告や職場の声をもとに速やかに調整を図ること。また、照度が足りないと申告があった場合は、照明を増設する等、早急に改善すること。

《回答》必要な調整は行っていく考えである。

(組) 申告があればということか。現状検証とか、夜間とかにやっているのか。

(会) 暗いであるとか、玉切れだとかがあれば、設備の社員が行って、基準を満たしているのか確認して、満たしていないのであれば修繕をしていく。視認性については既に実施している。照度についても過去出来ているということは、今回の施策に関わらず、ホーム上のどれだけ明るいとか、照度確保できているかというところは、定例的な検査で確認できている。

9項：531系のみ運用に伴い、お客さまへの安全を考慮し、列車とホームの段差や隙間を早急に改修すること。

《回答》必要な改善は行っていく考えである。

(会) こちらについて少し時間は掛かるが、可能な所や同一車両しか入らない駅からかさ上げ工事が入る計画を立てている。

(組) いつ頃からの計画なのか。

(会) 明確にいつからというのは出ていない。予算立ても確認してからとなる。結構時間は掛かると思う。

(組) 改修する場合、ホームが狭くなるのでその場合は、係員を出すとか考えているか。停止位置をずらすとかそのような所を明確にしないと、乗務員は不安になるのではないかと思うが。

(会) まだ工事の概要が出ていないので、実際カメラに映らなくなったとか、視界が妨げられるようになったとか、そういったことはないようにしていかなければならない。